

Ⅱ 家族・子育て

6 安心して子どもを産み育てられる環境をつくります

（基本方向）

安心して子どもを産み育てられる環境をつくるため、結婚、妊娠、出産、子育て期にわたる切れ目のない支援体制の充実や子育てにやさしい職場づくりを進めます。

また、子どもが、生まれ育った環境に左右されず、安心して学ぶことができるよう、教育の機会を確保するとともに、障がい児とその家族の多様なニーズに対応した地域療育支援体制の一層の充実を図ります。

現状と課題

- 令和3年の本県の出生数は6,472人と、10年前と比較して2,838人減少しており、また、令和3年の合計特殊出生率は1.30と、平成29年と比べると0.17ポイント低下しており、全国と同様に低下傾向が続いています。
- 令和3年に国立社会保障・人口問題研究所が公表した、令和2年の本県の生涯未婚率（50歳時の未婚率）は男性が29.61%、女性が16.70%で、平成27年と比べると、男性は3.0ポイント、女性は3.21ポイント上昇しており、男性の生涯未婚率は、全国第5位の高さとなっています。
- ライフスタイルの多様化などにより、平均初婚年齢は年々上昇しており、未婚化、晩婚化が一層進んでいます。さらに、長引くコロナ禍の影響により、人との接触機会の減少、人々の生活意識や行動が変化する中で、若い世代の結婚や子育てに関する意識が変化している可能性があります。
- 家庭や地域の子育て力が低下する中で、県民一人ひとりが家族や子育ての意義について理解を深め、地域社会全体で子育て家庭を応援する機運を高めていく必要があります。
- 家庭教育や子育てに関する相談件数が増加傾向にあることから、家庭教育を支える環境づくりを推進し、保護者等を支援する必要があります。
- 核家族化の進展や、出産年齢の上昇などによるリスクの高い妊婦の増加や分娩を取り扱う医療機関が減少する中で、安心して子どもを産み育てるためには、悩みを抱える妊産婦等を早期に発見し、相談支援につなげるとともに、医師確保や周産期医療機関の機能分担と連携及び救急搬送体制の充実強化による、安心して出産できる体制整備が必要です。
- 世帯当たり人員数の減少が続いており、家庭養育機能の脆弱化や子育ての孤立化などにより、養育者の育児不安が増加しています。
- 保育所等や放課後児童クラブにおいて、保育人材の不足や定員に対する年齢別のニーズのミスマッチ等により、特定の地域において待機児童が生じていることから、引き続き、子育て家庭を支援するため、市町村と連携して、子ども・子育て支援の充実を図る必要があります。
- 出産・育児等による労働者の離職を防ぎ、働く人がそれぞれの状況に合わせて柔軟に働き方を変えて仕事を継続できるよう、時間や場所を有効に活用できるテレワークや兼業・副業などの多

様な働き方の導入や定着促進が求められています。

- ・ 一般事業主行動計画の策定・届出及び情報公表の義務化の範囲拡大、大企業の男女賃金差の情報公開の義務化、産後パパ育休制度の施行等、労働関係法令改正の周知を図る必要があります。
- ・ こども基本法や「いわての子どもを健やかに育む条例」の基本理念に基づき、子どもの権利を尊重し、その最善の利益を考慮して、子どもの貧困、ヤングケアラー、児童虐待などの諸課題に対して、子どもの最善の利益を考慮し、生まれ育った環境に左右されることなく自己実現が図られるよう、環境整備を進めることが必要です。
- ・ 本県の療育の拠点である県立療育センターの機能の強化や、「医療的ケア児支援センター」の設置などにより、障がい児の療育体制の充実を図ってきたところですが、身近な地域で障がいの特性に応じ、希望する療育を受けられる療育支援体制の構築が求められています。

県が取り組む具体的な推進方策（工程表）

① 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

- ・ 結婚したいと願う県民の希望をかなえるため、県、市町村、民間団体等が連携して“いきいき岩手”結婚サポートセンターを設置・運営し、入会促進の取組などにより新規会員を確保するとともに、AIを活用したマッチング支援の強化に取り組みます。
- ・ 市町村と連携した出会いの場の創出や新婚世帯への経済的支援のほか、企業等と連携し従業員への結婚情報の提供などに取り組みます。
- ・ 若い世代が早い段階から将来のライフプランを考え、希望を持って未来を描くことができるよう、セミナーの実施や妊娠や出産、不妊に関する正しい知識の啓発などにより、若者のライフデザイン構築を支援します。
- ・ 社会全体で結婚や子育てを支援する機運の醸成に向け、企業等による支援活動が促進されるよう、「いわて子育て応援の店」、「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充を進めます。
- ・ 子育て中の親やこれから親になる若者が安心して家庭を持ち、子どもを生み育てていくことができるよう、家庭や子育ての大切さについての意識啓発や情報提供を行い、社会全体で子育てを支援する機運の醸成を図ります。
- ・ 不妊治療と仕事の両立支援のため、企業等に対し不妊治療休暇制度等の導入に向けた働きかけを行うとともに、不妊専門相談センターを設置し、不妊に悩む夫婦を総合的に支援します。
- ・ 市町村、企業、NPO等と連携し、男性の家事や育児に関わる意識の醸成を図り、男女が共に家事や育児に取り組む環境づくりを促進します。

② 安全・安心な出産環境の整備

- ・ 分娩取扱施設が減少している中、リスクに応じた適切な周産期医療提供体制を確保するため、周産期母子医療センターの機能強化や、「周産期医療情報ネットワーク」などのICT等の更なる活用による周産期医療機関の機能分担、連携及び救急搬送体制の充実強化を一層進めます。
- ・ 安心して子どもを生み育てることができるよう、妊産婦・子育て世帯・子どもの包括的な相談支援等を行う「こども家庭センター¹」の市町村への設置を促進するとともに、産後ケア事業、産前・産後サポート事業などの取組を促進します。また、妊娠の早期届出や妊婦健康診査の受診を促進するとともに、未受診者に対する指導の充実を図ります。

¹ こども家庭センター：全ての妊産婦、子育て世帯、子どもの包括的な相談支援等を行う機関。令和4年の児童福祉法の改正により、市町村における設置が努力義務とされたもの。

- ・ 妊産婦メンタルヘルスケアや乳児家庭全戸訪問等により、親子の心身の健康支援の充実に努めます。
- ・ 妊婦健診や分娩等のために医療機関へ通院している妊産婦の経済的負担を軽減する取組の充実及び一層の活用促進に取り組みます。

③ 子育て家庭への支援

- ・ 「岩手県子ども・子育て支援事業支援計画」に基づき、市町村と連携し、特に保育ニーズが増加している地域において保育の受け皿整備や保育人材の確保に取り組むなど、子ども・子育て支援の充実に図ります。
- ・ 仕事と子育ての両立支援などに取り組む企業等の表彰・認証の促進などにより、子育てにやさしい職場環境づくりを支援します。
- ・ 子育て家庭の適正な医療の確保が図られるよう、引き続き子ども、妊産婦、ひとり親家庭等に対する医療費助成を行うとともに、高校生等（18歳到達の年度末まで）の子ども及び妊産婦に係る医療費助成の現物給付を実施します。
- ・ 長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上、完全週休2日制普及等の働き方改革の取組を推進します。また、積極的に働き方改革に取り組もうとする企業を支援します。
- ・ 休暇制度や各種手当などの雇用・労働環境の改善について、岩手労働局と連携し、産業関係団体への要望活動や国の各種助成制度等の普及啓発を行います。

④ 子どもが健やかに成長できる環境の整備

- ・ 「岩手県子どもの幸せ応援計画」に基づき、子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることなく、子どもたちが自分の将来に希望を持てるよう、子どもの貧困対策の充実に向けて、学習環境の整備や福祉部門との連携強化などの教育の支援、相談事業の充実などの生活の支援、金銭の給付や奨学金の貸与などの経済的支援等に取り組みます。
- ・ ひとり親家庭等の多様なニーズに対応するため、民間団体や関係機関の緊密な連携による包括的な相談支援体制を構築するとともに、ひとり親家庭等が経済的に自立できるよう、保護者の就労支援や経済的な支援制度の周知と活用の促進等に取り組みます。
- ・ 児童虐待の発生予防、早期発見、相談・対応機能の充実及び再発防止や、ヤングケアラーなど支援が必要な子どもたちへの地域における支援体制を構築するため、市町村の子ども家庭相談体制の充実や要保護児童対策地域協議会の機能強化に向けた取組を支援するとともに、児童相談所の体制強化や関係機関との連携に努めます。
- ・ 社会的養護を必要とする子どもたちの最善の利益の実現に向け、「岩手県社会的養育推進計画」に基づき、家庭的環境での養育を促進するために里親委託等の推進や児童養護施設等の環境改善・ケア体制の充実に努めるとともに、施設を退所した子ども等への自立支援などの充実に努めます。

⑤ 障がい児の地域療育支援体制の充実

- ・ 県内どの地域でも、障がい児や特別な支援を必要とする子どもとその家族の多様なニーズに対応した療育が身近な場所で受けられるよう、各地域の保健、福祉、医療、教育等の関係機関が連携した地域療育ネットワークを構築し、支援の充実に努めます。
- ・ 「医療的ケア児支援センター」を中心に、地域が主体となった支援体制の構築を支援していきます。
- ・ 療育に携わる人材の養成、育成や、業務の推進を支援するための取組を進めていきます。

⑥ 家庭教育を支える環境づくりの推進

- 子育てや家庭教育に悩みや不安を抱える親を支援するため、電話やメールによる相談窓口の周知と利用促進を図るとともに、すこやかメールマガジン等による家庭教育に役立つ情報などの提供や、教育に関する意識啓発に取り組みます。
- 子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力、協働を図るため、子育てサポーター等の資質向上やネットワークづくりに向けた研修等を実施します。

県が取り組む具体的な推進方策	工程表（4年間を中心とした取組）																																																		
	～R4	R5	R6	R7	R8																																														
① 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進 目標 ・結婚サポートセンター会員における成婚者数（人）〔累計〕 <table border="1"> <tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr> <tr><td>36</td><td>55</td><td>115</td><td>180</td><td>250</td></tr> </table> 現状値は令和3年単年の値、目標値は令和5年からの累計 ・「いわて子育て応援の店」協賛店舗数（店舗）〔累計〕 <table border="1"> <tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr> <tr><td>2,225</td><td>2,500</td><td>2,600</td><td>2,700</td><td>2,800</td></tr> </table> 現状値は令和3年の値 ・子育てサポートセンターにおける子育て支援研修等参加者数（人）〔累計〕 <table border="1"> <tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr> <tr><td>136</td><td>140</td><td>280</td><td>420</td><td>560</td></tr> </table> 現状値は令和3年単年の値、目標値は令和5年からの累計 ・不妊治療休暇制度等導入事業者数（事業者）〔累計〕 <table border="1"> <tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr> <tr><td>2</td><td>26</td><td>37</td><td>48</td><td>60</td></tr> </table> 現状値は令和3年単年の値、目標値は令和5年からの累計 ・ライフプランセミナーの受講者数（人）〔累計〕 <table border="1"> <tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr> <tr><td>268</td><td>400</td><td>800</td><td>1,200</td><td>1,600</td></tr> </table> 現状値は令和3年単年の値、目標値は令和5年からの累計	現状値	R5	R6	R7	R8	36	55	115	180	250	現状値	R5	R6	R7	R8	2,225	2,500	2,600	2,700	2,800	現状値	R5	R6	R7	R8	136	140	280	420	560	現状値	R5	R6	R7	R8	2	26	37	48	60	現状値	R5	R6	R7	R8	268	400	800	1,200	1,600	いわて子どもプランの見直し 結婚・家庭・子育て支援に係る取組の強化・推進 希望に沿ったパートナー探しの支援 社会全体で子育てや結婚を支援する機運の醸成 「いわて子育て応援の店」の協賛店の拡大 「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡大 多子世帯向け支援による子育てへの機運醸成 総合的な子育て支援体制の充実 子育てポータルサイト、アプリ等による情報発信 家庭や子育ての大切さについての普及啓発や情報発信 不妊治療と仕事の両立がしやすい環境の整備 不妊専門相談センターによる相談の実施 男女が共に家事や育児に取り組む環境づくりを推進 若者のライフデザインの構築を支援 市町村を通じての父親の育児参加に関する普及啓発（ハンドブックの配布）
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
36	55	115	180	250																																															
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
2,225	2,500	2,600	2,700	2,800																																															
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
136	140	280	420	560																																															
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
2	26	37	48	60																																															
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
268	400	800	1,200	1,600																																															

県が取り組む具体的な推進方策	工程表（４年間を中心とした取組）														
	～R4	R5	R6	R7	R8										
② 安全・安心な出産環境の整備 目標 ・周産期救急患者搬送のコーディネート件数(件) 【再掲】			いわて子どもプランの見直し												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>404</td> <td>416</td> <td>428</td> <td>441</td> <td>454</td> </tr> </tbody> </table> 現状値は令和３年の値	現状値	R5	R6	R7	R8	404	416	428	441	454	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 出産環境の整備に係る取組の強化・推進 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 周産期母子医療センターの運営支援 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 周産期医療機関の機能分担と連携の推進 </div>				
現状値	R5	R6	R7	R8											
404	416	428	441	454											
・産後ケア事業実施市町村数（他市町村との連携を含む）（市町村）〔累計〕															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26</td> <td>31</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> 現状値は令和３年の値	現状値	R5	R6	R7	R8	26	31	33	33	33	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 研修会、連絡会議の実施等による市町村母子保健事業の支援 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 産前・産後のサポートの充実 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> こども家庭センターの設置促進 </div>				
現状値	R5	R6	R7	R8											
26	31	33	33	33											

県が取り組む具体的な推進方策	工程表（４年間を中心とした取組）																																																		
	～R4	R5	R6	R7	R8																																														
④ 子どもが健やかに成長できる環境の整備 目標 ・生活保護世帯の子どもの高等学校等進学率(%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96.6</td> <td>(R4) 97.8</td> <td>(R5) 98.4</td> <td>(R6) 99.0</td> <td>(R7) 99.5</td> </tr> </tbody> </table> 現状値は令和２年の値 ・学習支援事業に取り組む市町村数（市町村） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> 現状値は令和３年の値 ・子ども食堂など子どもの居場所づくりに取り組む市町村数（市町村） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> 現状値は令和３年の値 ・市町村要保護児童対策地域協議会に調整担当者（有資格者）を配置している市町村数（市町村） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>31</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> 現状値は令和３年の値 ・里親登録組数（組） <table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>219</td> <td>231</td> <td>237</td> <td>243</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table> 現状値は令和３年の値	現状値	R5	R6	R7	R8	96.6	(R4) 97.8	(R5) 98.4	(R6) 99.0	(R7) 99.5	現状値	R5	R6	R7	R8	24	26	28	30	33	現状値	R5	R6	R7	R8	24	26	28	30	33	現状値	R5	R6	R7	R8	30	31	32	33	33	現状値	R5	R6	R7	R8	219	231	237	243	250	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">いわて子どもプランの見直し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">子育て支援に係る取組の強化・推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">いわての子ども貧困対策推進計画の見直し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">子どもの貧困対策の強化・推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">教育の支援、生活の支援、経済的支援等の実施</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">子どもの居場所づくりに対する支援</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">子どもの居場所ネットワーク充実に係る支援</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">市町村における子どもの居場所づくりへの支援</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">岩手県ひとり親家庭等自立促進計画の見直し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ひとり親家庭等に対する包括的な相談支援体制の構築</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ひとり親家庭等の自立促進に係る取組の強化・推進</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">児童虐待防止の取組、市町村等の関係機関への支援</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">児童虐待防止アクションプランの見直し</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">市町村要保護児童対策地域協議会の体制強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">児童相談所の体制強化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">岩手県社会的養育推進計画の改訂</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">社会的養護を必要とする子どもに対する家庭的環境での養育の促進</div>
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
96.6	(R4) 97.8	(R5) 98.4	(R6) 99.0	(R7) 99.5																																															
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
24	26	28	30	33																																															
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
24	26	28	30	33																																															
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
30	31	32	33	33																																															
現状値	R5	R6	R7	R8																																															
219	231	237	243	250																																															

県が取り組む具体的な推進方策	工程表（４年間を中心とした取組）																																								
	～R4	R5	R6	R7	R8																																				
⑤ 障がい児の地域療育支援体制の充実 目標 ・児童発達支援センター設置圏域数（圏域数） <table border="1"> <tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> </table> 現状値は令和３年の値 ・岩手県医療的ケア児支援センターによる支援件数（件数）〔累計〕 <table border="1"> <tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>-</td><td>120</td><td>240</td><td>360</td><td>480</td></tr> </table> ・発達障がい児者地域支援体制整備への助言回数（回数）〔累計〕 <table border="1"> <tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>-</td><td>9</td><td>18</td><td>27</td><td>36</td></tr> </table>	現状値	R5	R6	R7	R8	3	3	4	5	6	現状値	R5	R6	R7	R8	-	120	240	360	480	現状値	R5	R6	R7	R8	-	9	18	27	36	<table border="1"> <tr><td>～R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ● 地域療育ネットワーク充実に係る支援 ● 第３期障がい児福祉計画策定 ● 医療的ケア児に関する地域の支援体制への支援 ● 発達障がい児者の地域支援体制整備への助言	～R4	R5	R6	R7	R8					
現状値	R5	R6	R7	R8																																					
3	3	4	5	6																																					
現状値	R5	R6	R7	R8																																					
-	120	240	360	480																																					
現状値	R5	R6	R7	R8																																					
-	9	18	27	36																																					
～R4	R5	R6	R7	R8																																					
⑥ 家庭教育を支える環境づくりの推進 目標 ・すこやかメールマガジンの登録人数（人） <table border="1"> <tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>3,635</td><td>4,500</td><td>5,000</td><td>5,500</td><td>6,000</td></tr> </table> 現状値は令和３年の値 ・子育てサポーター等を対象とした家庭教育支援に関する研修会の参加者数（人） <table border="1"> <tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td>559</td><td>615</td><td>625</td><td>635</td><td>645</td></tr> </table> 現状値は令和３年の値	現状値	R5	R6	R7	R8	3,635	4,500	5,000	5,500	6,000	現状値	R5	R6	R7	R8	559	615	625	635	645	<table border="1"> <tr><td>～R4</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ● 電話やメールによる相談窓口の開設と利用促進 ● すこやかメールマガジン等による学習情報の提供 すこやかメールマガジンの受信登録者拡大の取組 SNS等による発信方策の工夫・改善 ● 子育てサポーター等の研修の充実とネットワーク強化 ● 家庭教育支援チームの登録と活用の促進 ● 市町村における子育て・家庭教育支援事業の推進支援	～R4	R5	R6	R7	R8															
現状値	R5	R6	R7	R8																																					
3,635	4,500	5,000	5,500	6,000																																					
現状値	R5	R6	R7	R8																																					
559	615	625	635	645																																					
～R4	R5	R6	R7	R8																																					

県以外の主体に期待される行動

- （県民・NPO等）
- ・地域力を生かした子育て支援活動
- ・子どもの健やかな成長を支援するための活動
- ・行政、企業、支援機関等と連携した取組の実施
- （企業・団体）
- ・（公財）いきいき岩手支援財団による「いきいき岩手」結婚サポートセンター」の設置運営
- ・仕事と子育てが両立できる職場環境の整備
- ・地域の子育て支援サービスへの協力、協賛
- ・「いわて子育て応援の店」、「いわて結婚応援の店」への参加
- （子ども・子育て支援機関等）
- ・専門的な知識・経験による子育て支援等
- ・障害児通所支援事業の実施
- （医療機関）
- ・市町村等と連携した妊産婦のサポート
- ・医療機関間、診療科間の連携
- （学校）

- ・児童生徒の基本的な生活習慣の定着を図る取組の実施
(市町村)
- ・若者の出会い・結婚に関する施策の実施
- ・周産期医療に係る医療機関との連携
- ・地域における切れ目のない妊娠・出産支援
- ・市町村子ども・子育て会議による事業計画の着実な実施
- ・子育て家庭への医療費助成
- ・住民ニーズに応じた教育・保育サービス
- ・放課後や家庭における支援施策の実施
- ・住民参加と協働による子育て支援策の推進
- ・子ども家庭に係る相談・児童虐待通告への適切な対応
- ・就学支援の実施
- ・児童発達支援センターの設置・運営の検討
- ・発達障がいの可能性のある子どもの地域でのアセスメントの推進
- ・地域療育ネットワークの機能の充実
- ・家庭のニーズ等に応じた学習情報の提供
- ・子育てサポーターや子育て支援関係者の研修の実施